

「蓬原小学校の蓬原中野棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

志布志市立蓬原小学校

2 学年・人数

小学校 児童42名（4年13名，5年17名，6年12名）

担任4名

蓬原中野自治会 10数名

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

場所：蓬原小学校体育館・校庭

日時：5校時15：10～15：55

練習 9月11日（水），9月13日（金），20日（金），27日（金）

(2) 発表の日時・場所

日時：9月29日（日） 場所：蓬原小学校校庭

演技：運動会4・5・6年表現

※ 地域ケーブルテレビの取材もあり，地域の方々にも喜んでいただけた。

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称 蓬原中野棒踊り

(2) 由来

元々は，垂水市で島津義弘公の戦いの勝利を祝って始まった。2列縦隊の棒踊りは，150年前頃から伝わっているが，3列縦隊の棒踊りは，50年前ぐらいから踊られている。現在は，蓬原中野自治会の棒踊り保存会により，次世代へ継承されている。

(3) 構成等

本来は，短尺棒と長尺棒の2部構成である。

運動会では，短尺棒の踊りを，保存会の生の歌で踊る。また，子どもたちが踊った後に，蓬原中野自治会の保存会が踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

10年ほど前から，小学校・校区公民館合同運動会で，小学4～6年生による棒踊りが披露されるようになった。毎年，運動会前に蓬原中野自治会の棒踊り保存会が子どもたちに指導している。

今年も3回，蓬原中野棒踊り保存会による指導を受けた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

練習の時間が少ないので，DVDで踊りを見せ，子どもたちが覚えられるようにした。また，体育館での練習では，床を傷つけないよう，棒の先端に布を巻き付けさせた。子どもたちの棒に対する恐怖心をなくす効果もあった。毎年，3学年で行うため，練習では，上級生が下級生に教えるこ

とができるようになってきている。また、発表の際は、児童全員が棒踊りの衣装に着替えて演技を行った。運動会当日の着替えは、保存会や保護者の方々の協力をいただいている。

7 取組の様子



【上級生から下級生へ】



【保存会の方々の指導】



【衣装を着て最終練習】



【運動会の発表の様子】



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

- ・ 中野の友達から、代々伝わっていることを聞いて歴史があるんだなと思った。練習の時は親指を打って、打つのがこわくなったけど、本番では上手にできたのでよかった。友達と棒をたたく音があうと気持ち良かった。きれいな色の衣装で踊るときれいだった。

【一緒に参加した担任】

- ・ 隊形移動をするのは難しい。いつもは、指導で全体を見るが今回は、一緒に表現することで、中からみることができた。難しい踊りだが貴重な経験をさせていただいた。

【保存会】

- ・ 3年ぶりの快晴の中、運動会で披露することができてよかった。練習では、昨年を覚えている子も多くいた。年々、踊りの覚え方も子ども同士での教え合いができるようになり、よくなっている。声もよく出ていた。相手に合わせながら棒を打つのは大人でも難しいが、子どもたちはよく覚えて、三人組も上手にできるようになった。今後もお手伝いをしていきたい。